

# フィールド自治体型政策研究会 Topics No.4

第4回政策研究会〈令和元年7月25日〉

## 桑折町の魅力を「どう、プロモーションするのか」を学びました

第4回の政策研究会は、桑折町の魅力（地域魅力創造サイクルという発想にて発案した魅力）を地域の内外に発信する術として、「メディア活用戦略モデル」という発想法を学び会得することとしました。そのために、第1回に引き続き河井孝仁教授の講義と演習を受けることとしました。



はじめに、「地域魅力創造サイクルを支えるメディア活用戦略モデル」のお話を伺いました。

「傾聴しつつ、ブランドを認識させ、ブランドに関心を惹き、詳しい魅力を探求させ、詳しい情報を提供する場所を整え、地域への推奨・参加・感謝を促し、各時点で情報発信させる。」との流れを伺いました。

その流れの中で、活用できるメディアは何なのかを自治体の事例を交えながら分かりやすく教わりました。

引き続き、「メディア活用戦略ワーク」を行いました。

メディア活用戦略フレームを模造紙に描き、グループ内で意見交換し、このフレームに適切と考える付箋を貼っていくワークを実施しました。

# 「メディア活用戦略ワーク」の様様



メディア活用戦略フレームの作成



グループ内での適切な付箋の検討



グループ内での適切な付箋の検討



グループ内での適切な付箋の検討

桑折町	市の 情報	認知獲得	関心惹起	着地点	整
いつ	---	7月9日 7月10日	7月11日 7月12日	8月	8月
誰に (広報課)	---	広報課 市民課	市民課 市民課	市民課	市民課
何の メディアで	---	新聞 テレビ	新聞 テレビ	新聞 テレビ	新聞 テレビ
誰を (取材対象)	---	市長 市民	市長 市民	市長 市民	市長 市民
何を 伝える	---	市長 市民	市長 市民	市長 市民	市長 市民
何の 目的を達成	---	認知 関心	認知 関心	認知 関心	認知 関心
何の 効果を得る	---	認知 関心	認知 関心	認知 関心	認知 関心

メディア活用戦略フレームに適切な付箋を貼る (完成)



河井教授によるアドバイス風景





成果発表の打合せ



成果発表の風景



## 「メディア活用戦略ワーク」を終えて



演習終了後、河井教授から、メディア活用戦略で大事なことは、ターゲットであるとのことのお話がありました。

加えて、私たち研究員のターゲットは、桑折町に共感をしやすい人たちであり、そうした共感をしたい人たちを動かし、かつ、その人たちに新しいリソースになってもらうことが大事であるとのことのお話もありました。

次回からは、これまで学び会得した発想法などを活用して、具体的な提案に向けての活動に入ります。

